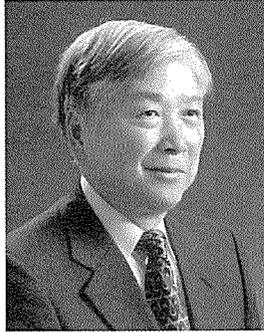


井口泰孝教授業績目録

平成18年3月
東北大学史料館
(著作目録第981号)



井口泰孝教授略歴

生年月日 昭和18年1月24日
本籍地 静岡県
職名 教授
所属 材料システム工学専攻
生体材料界面工学分野

最終学歴

昭和40年3月 東北大学工学部金属工学科 卒業
昭和42年3月 東北大学大学院工学研究科（金属工学専攻）修士課程 修了
昭和45年3月 東北大学大学院工学研究科（金属工学専攻）博士課程 科目修了

学位

昭和46年1月 工学博士（東北大学）

職歴

昭和45年4月 東北大学工学部金属工学科 助手
昭和48年5月 東北大学工学部金属工学科 講師
昭和49年4月 東北大学工学部金属工学科 助教授
昭和51年7月 マサチューセッツ工科大学客員研究員（文部省在外研究員乙）
（昭和53年7月まで）
昭和61年12月 東北大学工学部金属工学科 教授
平成9年4月 東北大学教授大学院工学研究科に配置換
平成10年4月 東北大学教授未来科学技術共同研究センターに配置換
平成13年1月 東北大学大学院工学研究科金属工学専攻に配置換
平成13年4月 東北大学評議員
平成15年4月 東北大学教授未来科学技術共同研究センター センター長

平成16年11月 東北大学大学院工学研究科 研究科長
平成18年3月 定年退職

受賞

昭和58年3月 日本金属学会 西山記念賞
昭和61年3月 日本金属学会 功績賞
昭和62年3月 日本鉄鋼協会 俵論文賞
平成元年3月 日本鉄鋼協会 山岡賞
平成8年3月 日本鉄鋼協会 山岡賞
平成11年1月 平成10年度河北文化賞
平成11年3月 第2回日本鉄鋼協会 学術功績賞
平成13年3月 第40回日本金属学会 谷川・ハリス賞
平成15年4月 特許庁 工業所有権制度関係功労者表彰 経済産業大臣賞
平成17年9月 第3回日本金属学会 功労賞

学会等における活動

日本金属学会会報編集委員（昭和54年～昭和56年）
日本金属学会会報編集委員（昭和58年～平成2年）
日本金属学会欧文誌編集委員（昭和62年～平成5年）
日本鉄鋼協会評議員（昭和63年～平成元年）
東北地区物理研究会世話人（平成2年～現在）
日本工学教育協会事業企画委員会委員（平成4年～平成11年）
日本鉄鋼協会ものづくり分科会主査（平成4年～平成9年）
東北工学教育協会常任理事・評議員（平成4年～平成17年）
日本FES研究会総務担当理事（平成4年～平成14年）
日本鉄鋼協会育成委員会委員（平成5年～平成15年）
日本資源・素材学会東北支部常議員（平成5年～平成11年）
日本金属学会会誌編集委員（平成5年～平成9年）
日本金属学会出版委員会委員（平成5年～平成13年）
日本金属学会出版委員会委員長（平成5年～平成7年）
日本金属学会分科会委員（平成5年～平成9年）
日本鉄鋼協会特基研究会鉄鋼スラグの基礎と応用部会委員（平成5年～平成8年）
日本金属学会理事（平成6年～平成8年）
日本鉄鋼協会理事（平成6年～平成7年）
日本鉄鋼協会高温プロセス部会部会長（平成7年～平成9年）
日本金属学会金属化学入門シリーズ委員長（平成7年～平成13年）
日本鉄鋼協会評議員（平成8年～平成9年）
日本鉄鋼協会評議員（平成10年～平成11年）
日本金属学会理事（平成10年～平成12年）
日本金属学会副会長（平成10年～平成12年）
日本金属学会会報編集委員（平成11年～平成13年）
日本金属学会第0分科委員長（平成11年～平成13年）
日本金属学会欧文誌編集委員（平成12年～平成14年）
日本金属学会会誌編集委員（平成12年～平成14年）
日本鉄鋼協会評議員（平成12年～平成13年）
日本鉄鋼協会学会部門学術部会社会鉄鋼工学部会運営委員会委員（平成12年～平成18年）
日本鉄鋼協会東北支部支部長（平成12年～平成14年）
日本工学アカデミー一理事（平成12年～平成16年）

物理教育学会東北支部理事（平成12年～平成13年）
日本金属学会第4分科委員長（平成13年～平成15年）
日本金属学会理事（平成14年～平成16年）
日本鉄鋼協会理事（平成14年～平成15年）
日本知財学会 人材育成担当理事（平成14年～現在）
物理教育学会東北支部支部長（平成14年～現在）
日本金属学会会長（平成15年～平成16年）
日本 FES 研究会監事（平成15年～現在）
日本鉄鋼協会評議員（平成16年）
全国材料関係教室協議会会長（平成16年～平成18年）
東北工学教育協会会長（平成17年～現在）
日本工学教育協会理事（常任理事兼任）（平成17年～平成18年）

社会における活動

日本学術振興会製鋼第19委員会製鋼センサ小委員会委員（昭和61年～平成元年）
東北学生卓球連盟副会長（昭和62年4月～平成13年）
日本学術振興会製鋼第19委員会委員（昭和62年～平成13年）
日本学術振興会産学協力研究委員（平成元年～平成2年）
名古屋大学工学部非常勤講師（平成3年～平成4年）
宮城県高等学校生徒理科研究会発表会講師（平成5年～現在）
日本学術振興会製鋼第54委員会委員（平成5年4月～現在）
日本学術会議 第5部 工学 金属工学研究連絡委員会「金属プロセス専門委員会」委員
（平成6年～平成10年）
財団法人宇宙環境利用促進センター低損失電力制御素子用高品質結晶材料創製技術
開発プロジェクトの物性値測定分科会委員（平成7年～平成12年）
新エネルギー・産業技術総合開発機構環境調和型生産技術開発委員会委員
（平成8年～平成12年）
太陽電池用原料技術研究組合技術分科会委員（平成8年～平成13年）
建設省(財)土木研究センター鋼矢板品質確認調査検討委員会委員長（平成8年～平成10年）
東京工業大学非常勤講師（平成9年）
日本学術振興会製鋼第19委員会反応プロセス研究会主査（平成9年～平成13年）
日本学術振興会特別研究員審査会専門委員（平成9年～平成11年）
文科省文部省大学設置 学校法人審議会専門委員（大学設置分科会）（平成9年～平成13年）
文部省 国立高等専門学校教員の選考及び高等専門学校教員試験認定に係る協力者
（平成9年～平成11年）
財団法人宮城県高度技術振興財団宮城県地域結集型共同研究事業共同研究推進委員会委員
（平成10年～平成12年）
財団法人宮城県高度技術振興財団宮城県地域結集型共同研究事業研究員
（平成10年～平成12年）
文部省学術審議会専門委員（科学研究費分科会）（平成10年～平成11年）
日本鉄鋼連盟鋼矢板 JIS 規格専門委員会委員長（平成11年～平成12年）
科学技術振興事業団特許化促進委員（平成11年～平成14年）
九州大学大学院工学研究科非常勤講師（平成11年～平成12年）
株式会社東北テクノアーチ技術指導員（平成11年～平成13年）
財団法人岩手県高度技術振興会 RSP 研究会委員（平成11年～平成12年）
日本テクノマート開放特許活用例集作成委員会委員長（平成11年～平成12年）
株式会社野村総合研究所東北地域におけるファイナンス支援検討委員会委員
（平成11年～平成12年）

財団法人金属系材料研究開発センター材料国家産業技術戦略検討委員会産学官の
連携強化 WG 委員 (平成12年)

株式会社東北テクノアーチ取締役 (平成12年～平成18年)

財団法人みやぎ産業振興機構地域結集型共同研究事業共同研究推進委員会
(平成12年～平成14年)

TLO 協議会環境整備委員会委員長 (平成12年～平成13年)

文部省高等教育局 大学設置・学校法人審議会専門委員 (大学設置分科会)
(平成12年～平成13年)

文部省今後の産学連携の在り方に関する調査研究協力者会議委員
(平成12年～平成13年)

日本学術会議事務局 研究連絡委員会委員 (平成12年～平成15年)

日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業研究評価委員会委員 (平成12年～平成14年)

財団法人日本特許情報機構 開放特許活用例集作成委員会委員長 (平成12年～平成15年)

財団法人いわて産業振興センター地域研究開発促進拠点支援事業 (RSP) 推進会議委員
(平成12年～平成17年)

日本貿易振興会平成12年度ベンチャー・インキュベーション・スペース運営事業国内
審査委員会委員 (平成12年～平成13年)

財団法人ベンチャーエンタープライズセンター創造の中小企業支援事業「技術シーズ
事業化促進事業」に係る企画運営委員会 委員長 (平成12年～平成13年)

中国東北大学 名誉教授 (平成12年～現在)

科学技術振興事業団先端工学 (FOE) シンポジウム推進委員 (平成13年～平成15年)

ビジュアルテクノロジー株式会社 技術指導顧問 (平成13年～平成16年)

日本学術振興会製鋼第19委員会委員長 (平成13年～平成16年)

日本学術会議 第5部 工学 金属工学研究連絡委員会「金属プロセス専門委員会」監事
(平成13年～平成15年)

日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業研究評価委員会評価協力者 (最終評価担当)
(平成14年～平成17年)

フィンランド健康福祉センター推進協議会 (仙台市ーフィンランド政府事業) 副会長
(平成14年～現在)

島根大学地域共同研究センター外部評価委員会委員 (平成14年～平成15年)

財団法人みやぎ産業振興機構地域結集型共同研究事業共同研究推進委員会委員
(平成14年～平成15年)

財団法人みやぎ産業振興機構地域結集型共同研究事業産業化推進委員会委員
(平成14年～平成15年)

日本貿易振興会平成14年度「ベンチャー支援策検討委員会」(平成14年～平成15年)

日本技術者教育認定機構日本技術者認定機構の本認定にかかる審査員 (平成14年～平成15年)

株式会社 UFJ 総合研究所国土交通省委託事業「産業施設を活用した人的交流促進による
地域活性化調査」検討委員会委員 (平成14年～平成15年)

熊本大学 大学院自然科学研究科博士前期課程及び工学部の外部評価委員会委員
(平成15年～平成16年)

青葉工学振興会理事 (平成15年～平成18年)

東北ベンチャーランド推進センター理事 (平成15年～平成17年)

科学技術振興事業団研究成果活用プラザ宮城 技術評価委員会委員長 (平成15年～平成16年)

財団法人日本特許情報機構 平成15年度特許流通データベース委員会委員長
(平成15年～平成16年)

国際的産業特区推進会議プロジェクト会議委員 (平成15年～平成16年)

Feel Finland (フィンランド大使館) 顧問 (平成15年～現在)

東北大学先進医学研究機構 役員 (平成15年～平成16年)

東北大学先進医工学研究機構 副機構長（平成16年～現在）

財団法人日本特許情報機構平成16年度特許流通データベース委員会委員長
（平成16年～平成17年）

株式会社アオバ・テクノ・コア 発起人（平成16年）

株式会社アオバ・テクノ・コア 取締役（平成16年）

東北大学出版会評議員（平成16年～平成18年）

東北大学知的財産調査委員会委員長（平成16年～平成18年）

東北大学大学院環境科学研究科運営協議会委員（平成16年～平成18年）

東北大学教育研究評議会評議員（平成16年～平成18年）

独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（平成16年）

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術委員（平成16年～平成18年）

岩手大学地域連携推進センター外部評価実施に係る評価委員（平成16年～平成18年）

財団法人金属系材料研究開発センター理事（平成16年～平成18年）

独立行政法人 科学技術振興機構先端工学（FOE）シンポジウム推進委員
（平成16年～平成18年）

独立行政法人日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員及び
国際事業委員会書面審査委員（平成17年～平成19年）

独立行政法人 科学技術振興機構研究成果活用プラザ宮城・技術評価委員会委員長
（平成16年～平成17年）

独立行政法人 科学技術振興機構研究成果活用プラザ宮城 運営委員会委員
（平成16年～平成18年）

有限会社自然食彩（青葉記念会館）外部有識者（平成16年～平成17年）

東京高等裁判所専門委員（平成16年～平成18年）

仙台ウェルネス・コンソーシアム外部評価委員会委員（平成16年～平成17年）

財団法人東北産業活性化センター産業技術振興委員会委員長（平成16年～平成18年）

財団法人みやぎ産業振興機構おぼえインキュベーションスクエア入居審査委員会委員
（平成16年～平成17年）

社団法人日本発明協会平成16年度国際特許流通セミナー開催委員会委員
（平成16年～平成17年）

情報・生命・未来型ものづくり産業クラスター協議会会長（平成16年～平成17年）

財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団評議員（平成16年～平成18年）

株式会社インテリジェント・コスモス研究機構 仙台地域知的クラスター創成事業
知的クラスター評価委員会委員（平成16年～平成18年）

東北原子力懇談会参与（平成16年～平成19年）

社団法人みやぎ工業会特別会員（平成16年～平成17年）

宮城工業高等専門学校「地域有識者との懇談会委員」（平成16年～平成17年）

文部科学省仙台知的クラスター推進委員会委員（平成16年～現在）

日本弁理士会知的財産政策諮問会議外部委員（平成16年～平成17年）

中国華中科技大学 客員教授（平成16年～現在）

中国武漢理工大学 客員教授（平成16年～現在）

中国地質大学 客員教授（平成16年～現在）

青葉工学振興会指定研究助成金審査員（平成17年～現在）

財団法人みやぎ産業振興機構評議員（平成17年～平成18年）

(株)東日本リサーチセンターものづくり日本大賞選考事業東北地域事務局
ものづくり日本大賞東北地域選考委員（平成17年）

東北生産性本部理事（平成17年～平成18年）

東北 IT クラスタ・イニシアチブ顧問（平成17年～平成19年）

宮城県消費者協会理事（平成17年～平成18年）

財団法人日新奨学会理事（選考委員兼任）（平成17年～平成18年）

財団法人仙台応用情報学研究振興財団 次世代健康福祉・介護情報基盤技術開発
コンソーシアム アドバイザリー・ボード委員長（平成17年～平成18年）

日本弁理士会知的財産政策諮問会議外部委員（平成17年～平成18年）

独立行政法人 科学技術振興機構 研究成果活用プラザ宮城・技術評価委員会委員長
（平成17年～平成19年）

民主教育協会東北支部常任理事（平成17年～平成18年）

財団法人みやぎ産業科学振興基金評議員（平成17年～平成18年）

仙台電波工業高等専門学校運営諮問会議評議員（平成17年～平成18年）

業 績 目 録

I. 著書・編著（共著書等含む）

1. 現代の金属学, 実験技術集 4, 金属の化学的測定法 I,
井口泰孝（分担執筆）, 1976, 日本金属学会.
2. Steelmaking Data Sourcebook,
井口泰孝（分担執筆）, 1988, Gordon and Breach Science Publishers.
3. 金属便覧, 改定 5 版,
井口泰孝（分担執筆）, 1990, 丸善.
4. Chemical Properties of Molten Slags,
井口泰孝（分担執筆）, 1991, Iron and Steel Institute of Japan.
5. ニューマテリアルハンドブック
井口泰孝（分担執筆）, 1993, 昭晃堂.
6. 第 5 版化学便覧 応用化学編
井口泰孝（分担執筆）, 1995, 丸善.
7. 実験 材料科学 ニューマテリアル開発への基礎
井口泰孝（分担執筆）, 1996, 内田老鶴圃.
8. 材料科学のための熱力学入門
井口泰孝（共訳）, 1998, 講談社.

II. 研究論文

(1966年)

1. The Solubility of Water in Liquid Silicate.
T. Fukushima, Y. Iguchi, S. Ban-ya and T. Fuwa,
Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan, 6 (1966), 225-232.

(1967年)

2. 酸性および中性酸化物を含む熔融珪酸塩の水蒸気吸収.
不破 祐, 萬谷志郎, 福島 勤, 井口泰孝,
鉄と鋼, 53 [2] (1967), 91-100.

(1969年)

3. The Solubility of Water in Liquid CaO-SiO₂ with Al₂O₃, TiO₂, and FeO at 1550 °C.
Y. Iguchi, S. Ban-ya and T. Fuwa,
Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan, 9 (1969), 189-195.

(1970年)

4. The Solubility of Water in Liquid CaO-SiO₂-MgO with and without "FeO" at 1550 °C.
Y. Iguchi and T. Fuwa,
Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan, 10 (1970), 29-35.

(1972年)

5. Hydrogen in Liquid Silicate.
Y. Iguchi and T. Fuwa,
Extrait de L'HYDROGENE DANS LES METAUX Tome 2, (1972), 424-426.

(1973年)

6. Heat of Mixing of Iron Alloys.
Y. Tozaki, Y. Iguchi, S. Ban-ya and T. Fuwa,
Chemical Metallurgy of Iron and Steel, ISI, (1973), 130-132.
7. Effect of Additions of Oxides on the Solubility of Water in Liquid CaO-SiO₂.
Y. Iguchi, S. Ban-ya and T. Fuwa,
Chemical Metallurgy of Iron and Steel, ISI, (1973), 28-30.

(1975年)

8. Dissolution of Hydrogen in Liquid Iron from Gas Phase through Liquid Slag.
Y. Iguchi and T. Fuwa,
Metal-Slag-Gas Reactions and Processes, (1975), 8-15.

(1977年)

9. The Behavior of Oxides in Electros slag Remelting of Steels.
J. F. Elliott, Y. Iguchi and T-H. Chiang,
Electric Furnace Proceedings, 61 (1977), 208-220.
10. 高温熱量計の試作と予備実験：銅合金系の混合熱の測定。
井口泰孝, 下地弘剛, 萬谷志郎, 不破 祐,
鉄と鋼, 63 [2] (1977), 275-284.

11. 高温熱量計によるニッケルおよびコバルト合金の混合熱測定.
井口泰孝, 戸崎泰之, 柿崎光雄, 萬谷志郎, 不破 祐,
鉄と鋼, 63 [6] (1977), 953-961.

(1978年)

12. Electrochemical Aspects of Refractory Attack.
Y. Iguchi, G. J. Yurek and J. F. Elliott,
Proceedings of the Third International Iron and Steel Congress, (1978), 346-351.

(1980年)

13. Raman Spectroscopic Study on the Structure of Silicate Slag.
S. Kashio, Y. Iguchi, T. Goto, Y. Nishina and T. Fuwa,
Transactions of the Iron and Steel Institute of Japan, 20 (1980), 251-253.

(1981年)

14. 高温熱量計による鉄合金の混合熱の測定.
井口泰孝, 戸崎泰之, 柿崎光雄, 不破 祐, 萬谷志郎,
鉄と鋼, 67 [7] (1981), 925-932.
15. Raman Spectroscopic Study on the Structure of Silicate Slags.
Y. Iguchi, S. Kashio, T. Goto, Y. Nishina and T. Fuwa,
Canadian Metallurgical Quarterly, 20 (1981), 51-56.

(1982年)

16. ラマン分光法による珪酸塩スラグの構造解析.
樫尾茂樹, 井口泰孝, 不破 祐, 仁科雄一郎, 後藤武生,
鉄と鋼, 68 [14] (1982), 1987-1993.
17. 高温熱量計による鉄合金の混合熱の測定.
井口泰孝, 昇祥一郎, 斎藤 研, 不破 祐,
鉄と鋼, 68 [6] (1982), 633-640.
18. Heat of Mixing of Liquid $\text{Fe}_x\text{O-SiO}_2$ Slag.
S. Ban-ya, Y. Iguchi and H. Honda,
Proceedings of International Symposium on the Physical Chemistry of Iron
and Steelmaking, Toronto, Can. Inst. Metals, (1982), 39-44.

(1983年)

19. 高炉スラグ中のガスの挙動.
不破 祐, 萬谷志郎, 井口泰孝, 石井不二夫,
鉄と鋼, 69 [3] (1983), 371-377.

20. 熔融 Cr および熔融 Cr-Fe 合金の窒素溶解度.
石井不二夫, 井口泰孝, 萬谷志郎,
鉄と鋼, 69 [8] (1983), 913-920.
21. ラマン分光法による CaO-MeO-SiO₂, MnO-SiO₂ および FeO-SiO₂ 系スラグの
構造解析.
若生昌光, 井口泰孝, 萬谷志郎, 仁科雄一郎, 不破 祐,
鉄と鋼, 69 [9] (1983), 1145-1151.

(1984年)

22. 純酸素による熔融 Fe-Ni, Fe-Cr 合金の酸化速度.
萬谷志郎, 井口泰孝, 沈 載東, 布袋屋道則,
鉄と鋼, 70 [8] (1984), 838-845.
23. 熔融ウスタイトの水素による還元反応速度.
萬谷志郎, 井口泰孝, 長坂徹也,
鉄と鋼, 70 [14] (1984), 1689-1696.
24. Kinetics of Water Vapor Dissolution in Molten Slags.
S. Ban-ya, Y. Iguchi, S. Nagata and S. Yamamoto,
Proceedings of 2nd International Symposium on Metallurgical Slags and
Fluxes, Lake Tahoe, TMS-AIME, (1984), 609-623.
25. Raman Spectroscopic Study on the Structure of CaO-MeO-SiO₂, MnO-
SiO₂ and FeO-SiO₂ Slags.
M. Wako, Y. Iguchi, S. Ban-ya, Y. Nishina and T. Fuwa,
Proceedings of 2nd International Symposium on Metallurgical Slags and
Fluxes, Lake Tahoe, TMS-AIME, (1984), 975-983.

(1985年)

26. 熔融 CaO-SiO₂-Al₂O₃ 系スラグにおける水蒸気溶解度および溶解速度.
萬谷志郎, 井口泰孝, 永田俊介,
鉄と鋼, 71 [1] (1985), 55-62.
27. 熔融ウスタイトの CO による還元反応速度.
長坂徹也, 井口泰孝, 萬谷志郎,
鉄と鋼, 71 [2] (1985), 204-211.
28. Solubility of Nitrogen in Liquid Chromium and Chromium-Iron Alloys.
F. Ishii, Y. Iguchi and S. Ban-ya,
Proceedings of G. R. Fitterer Symposium on Nitrogen in Metals and Alloys,
New York, TMS-AIME, A85-23, (1985), 1-11.

29. Rate of Nitrogen Desorption from Liquid Iron-Chromium Alloys.
S. Ban-ya, F. Ishii and Y. Iguchi,
Proceedings of G. R. Fitterer Symposium on Nitrogen in Metals and Alloys,
New York, TMS-AIME, A85-19, (1985), 1-9.
30. 溶融 $\text{Fe}_x\text{O-SiO}_2$ 系スラグの生成熱測定.
萬谷志郎, 井口泰孝, 本多 弘, 石塚晴彦,
鉄と鋼, 71 [7] (1985), 846-852.
31. Rate of Reduction of Liquid Wustite with CO .
T. Nagasaka, Y. Iguchi and S. Ban-ya,
The Tenth Japan-USSR Joint Symposium on Physical Chemistry of
Metallurgical Process, (1985), 63-73.

(1986年)

32. Solubility of Nitrogen in Liquid Chromium and Chromium-Iron Alloys.
F. Ishii, Y. Iguchi and S. Ban-ya,
Transactions of the Iron and Steel Institute of Japan, 26 [3] (1986), 128-132.
33. Rate of Reduction of Liquid Wustite with Reducing Gases.
S. Ban-ya, Y. Iguchi and T. Nagasaka,
Proceedings of International Ferrous Metallurgical Professor Seminar, Beijing,
China, (1986), 10-1-10-15.
34. 溶融 $\text{CaO-SiO}_2\text{-MgO}$, $\text{CaO-SiO}_2\text{-TiO}_2$ 系スラグにおける水蒸気溶解度および溶解速度.
萬谷志郎, 井口泰孝, 山本誠司,
鉄と鋼, 72 [16] (1986), 2210-2217.
35. Rate of Reduction of Liquid Iron Oxide with CO .
T. Nagasaka, Y. Iguchi and S. Ban-ya,
Process Technology Conference Proceedings, The Iron and Steel Society, of
AIME, Warrendale, PA, USA, 6, (1986), 669-678.
36. FES 用経皮的埋め込み電極の検討.
半田康延, 星宮 望, 井口泰孝, 尾田 孝,
電子通信学会, MBE86-45, (1986), 23-29.

(1988年)

37. Rate of Nitrogen Desorption from Liquid Iron-Carbon and Iron-Chromium Alloys with Argon.
S. Ban-ya, F. Ishii, Y. Iguchi and T. Nagasaka,
Metallurgical Transactions B, 19B [2] (1988), 233-242.

(1989年)

38. 溶融酸化鉄のCOによる還元反応速度に及ぼす添加物の影響.
長坂徹也, 井口泰孝, 萬谷志郎,
鉄と鋼, 75 [1], (1989), 74-81.
39. Water Vapor in Molten Aluminate Fluxes.
Y. Iguchi, M. Watanabe and S. Ban-ya,
Proceedings of the 5th China-Japan Symposium on Science and
Technology of Iron and Steel, (1989), 309-321.
40. 機能的電気刺激のための極細経皮的埋込み電極の開発とその臨床応用
半田康延, 半田 勉, 星宮 望, 井口泰孝,
日本パラプレジア医学会雑誌, 2 (1989), 108-109.
41. Development of Percutaneous Intramuscular Electrode for Multichannel FES
System.
Y. Handa, N. Hoshimiya, Y. Iguchi and T. Oda,
IEEE Trans. Biomed. Eng., 36 (1989), 705-710.
42. Raman Spectroscopic Study on Structure of Binary Silicates and Ternary Oxide
Melts with and without Fluoride.
Y. Iguchi, K. Yonezawa, Y. Funaoka, S. Ban-ya and Y. Nishina,
Proceedings of 3rd International Conference on Molten Slags and Fluxes,
Glasgow, The Institute of Metals, London, (1989), 169-171.
43. Heats of Formation of Liquid $\text{Fe}_t\text{O}-\text{CaO}-\text{SiO}_2$ and $\text{Fe}_t\text{O}-\text{MnO}-\text{SiO}_2$ Slags.
S. Ban-ya, Y. Iguchi, H. Ishizuka, T. Shibata and M. Arai,
Proceedings of 3rd International Conference on Molten Slags and Fluxes,
Glasgow, The Institute of Metals, London, (1989), 81-84.

(1990年)

44. 溶融アルミネート中への水蒸気の溶解.
渡邊雅俊, 井口泰孝, 萬谷志郎,
鉄と鋼, 76 [10] (1990), 1672-1679.

45. High-Temperature Oxidation of Chemically Vapor-Deposited Silicon Carbide in Wet Oxygen at 1823 to 1923 K.
T. Narushima, T. Goto, Y. Iguchi and T. Hirai,
J. Am. Ceram. Soc. , 73 [12] (1990), 3580-3584.
46. Combined Gas Sensor Consisting of Ca β -Alumina and Zirconia Solid Electrolytes for Simultaneous Determination of Po₂, Pco and Pco₂.
Y. Iguchi, M. Nishikohri and M. Kawamura,
Proceedings of 6th International Iron and Steel Congress, Nagoya, The Iron and Steel Institute of Japan, 1, (1990), 513-516.
47. Collaborate Research Activities for the Development of Electrochemical Sensor.
M. Iwase, M. Sasabe, Y. Iguchi, T. Onouye and K. S. Goto,
Proceedings of 6th International Iron and Steel Congress, Nagoya, The Iron and Steel Institute of Japan, 1, (1990), 537-542.
48. Solid State Sensors Incorporating Auxiliary Electrode for Rapid Determinations of Chromium in Molten Iron.
K. S. Goto, M. Sasabe, Y. Iguchi, M. Iwase and T. Onou-ye, Solid State Ionics, 40/41, (1990), 770-772.
49. The Thermochemistry of Ferrous Melts.
Y. Iguchi,
Proceedings of the Elliott Symposium on Chemical Process Metallurgy, (1990), 129-147.

(1991年)

50. High-Temperature Active Oxidation of Chemically Vapor-Deposited Silicon Carbide in an Ar-O₂ Atmosphere.
T. Narushima, T. Goto, Y. Iguchi and T. Hirai, J. Am. Ceram. Soc., 74[10] (1991), 2583-2586.
51. Reaction between Water Vapor and Molten Aluminates.
M. Watanabe and Y. Iguchi,
US-Japanese Joint Seminar Fundamentals of Bath Smelting and Clean Steel Production, (1991), 92-96.

(1992年)

52. 溶鉄のバリウムによる脱酸平衡.
加藤周一, 井口泰孝, 萬谷志郎,
鉄と鋼, 78[2] (1992), 253-259.

53. Reaction between Water Vapor and Molten Aluminate Fluxes.
Y. Iguchi and M. Watanabe,
Proceedings of the 4th International Conference on Molten Slags and Fluxes,
(1992), 155-160.
54. Solubility of Ga_2O_3 or In_2O_3 in Liquid B_2O_3 .
D. Sajuti, M. Yano, T. Narushima and Y. Iguchi,
Proceedings of 4th International Conference on Molten Slags and Fluxes, ISIJ,
(1992), pp. 614-619.
55. Percutaneous Intramuscular Electrodes for FES and Further Development.
Y. Iguchi, Y. Handa, N. Hoshimiya, Y. Tanimoto and T. Oda,
Proceeding of the 1st International FES Symposium in Sendai, (1992), 46-49.
56. The Relationships between Hydroxyl Capacity and Phosphate, Sulphide,
Carbonate or Nitride Capacity in Liquid Slag.
Y. Iguchi and M. Watanabe,
Proceedings of the 5th between Japan-Nordic Countries Joint Symposium on
Science and Technology of Process Metallurgy, (1992), 101-110.
57. High-Temperature Active Oxidation of CVD- Si_3N_4 in Ar-O_2 Atmosphere.
T. Narushima, T. Goto, Y. Yokoyama, Y. Iguchi and T. Hirai,
Solid State Ionics, 53-56, (1992), 265-269.
58. High-Temperature Oxidation of CVD-SiC in CO-CO_2 Atmosphere.
T. Narushima, T. Goto, Y. Iguchi and T. Hirai,
High Temperature Corrosion of Advanced Materials and Protective Coatings,
Elsevier, Amsterdam, (1992), 345-350.

(1993年)

59. Oxidation of Chemically Vapor Deposited Silicon Nitride in Dry Oxygen at
1923 to 2003 K.
T. Narushima, Ray Y. Lin, Y. Iguchi and T. Hirai,
J. Am. Ceram. Soc. ,76[4] (1993), 1047-1051.
60. High-Temperature Active Oxidation of Chemically Vapor-Deposited
Silicon Carbide in CO-CO_2 Atmosphere.
T. Narushima, T. Goto, Y. Yokoyama, Y. Iguchi and T. Hirai,
J. Am. Ceram. Soc. ,76 [10] (1993), 2521-2524.

61. Phase Diagrams of the $\text{Ga}_2\text{O}_3\text{-B}_2\text{O}_3$ and $\text{In}_2\text{O}_3\text{-B}_2\text{O}_3$ Binary Systems.
D. Sajuti, M. Yano, T. Narushima and Y. Iguchi,
Mater. Trans. JIM 34 [12] (1993), 1195-1199.
62. Solubility of Oxygen, Nitrogen and Carbon in Liquid Silicon.
Y. Iguchi and T. Narushima,
Proceedings of the First International Conference on Processing Materials for
Properties, TMS, (1993), 437-440.

(1994年)

63. Active-to-Passive Transition and Bubble Formation for High-Temperature
Oxidation of Chemically Vapor-Deposited Silicon Carbide in CO-CO_2
Atmosphere.
T. Narushima, T. Goto, Y. Yokoyama, M. Takeuchi, Y. Iguchi and T. Hirai,
J. Am. Ceram. Soc., 77 [4] (1994), 1079-1082.
64. Oxygen Solubility in Liquid Silicon.
T. Narushima, K. Matsuzawa, Y. Mukai and Y. Iguchi,
Mater. Trans. JIM, 35[8] (1994), 522-528.
65. High-Temperature Active Oxidation and Active-to-Passive Transition of
Chemically Vapor-Deposited Silicon Nitride in $\text{N}_2\text{-O}_2$ and Ar-O_2 Atmospheres.
T. Narushima, T. Goto, Y. Yokoyama, J. Hagiwara, Y. Iguchi and T. Hirai,
J. Am. Ceram. Soc., 77[9] (1994), 2369-2375.
66. High-Temperature Oxidation of Chemically Vapor-Deposited Silicon Nitride in
a Carbon Monoxide-Carbon Dioxide Atmosphere.
T. Narushima, T. Goto, J. Hagiwara, Y. Iguchi and T. Hirai,
J. Am. Ceram. Soc., 77[11] (1994), 2921-2925.
67. Theoretical Estimation of the Effect of Minor Elements on the Solubility of
Oxygen in Silicon Melt.
Y. Waseda, K. T. Jacob, Y. Iguchi and T. Narushima,
J. Crystal Growth, 139 (1994), 357-362.
68. High-Temperature Active Oxidation of CVD- Si_3N_4 in $\text{N}_2\text{-O}_2$ Atmosphere.
T. Narushima, J. Hagiwara, N. Kikuchi, Y. Iguchi, T. Goto and T. Hirai,
Advanced Materials '93, I/A: Ceramics, Powders, Corrosion and Advanced
Processing, Trans. Mat. Res. Soc. Jpn., v14A, Elsevier, (1994), 281-284.

69. Nitrogen Solubility in Liquid Silicon.
T. Narushima, N. Ueda, M. Takeuchi, F. Ishii and Y. Iguchi,
Mater. Trans. JIM, 35[11] (1994), 821-826.
70. High-Temperature Passive/Active Oxidation for CVD SiC and Si₃N₄.
T. Goto, T. Narushima, Y. Iguchi and T. Hirai,
Ceramic Transactions vol. 42, The Am. Ceram. Soc., (1994), 307-318.
71. Active to Passive Transition in the High-Temperature Oxidation of CVD SiC
and Si₃N₄.
T. Goto, T. Narushima, Y. Iguchi and T. Hirai,
Corrosion of Advanced Ceramics. Kluwer Academic Publishers, Netherlands,
(1994), 165-176.

(1995年)

72. 熔融ガリウムおよび熔融インジウムの酸素溶解度.
成島尚之, ジュスマン・サユテ, 佐伯勝之, 吉田真哉, 井口泰孝,
日本金属学会誌, 59[1] (1995), 37-43.
73. Oxygen Solubility in Liquid Si-X (X=Sb, B, P and As) Alloys.
T. Narushima, K. Matsuzawa, M. Mamiya and Y. Iguchi,
Mater. Trans. JIM., 36[6] (1995), 763-769.
74. ラマン分光法を用いた高温酸化皮膜の"その場"観察装置の開発.
成島尚之, 菊池直樹, 丸山誠, 嵐 治夫, 仁科雄一郎, 井口泰孝,
鉄と鋼, 81[6] (1995), 607-612.
75. セルモデルによる熔融スラグのハイドロキシルキャパシティーの定式化.
渡辺雅俊, 井口泰孝,
鉄と鋼, 81[6] (1995), 613-618.
76. Development of Totally Implanted FES Electrodes.
Y. Iguchi, H. Kitajima, K. Kokubo, Y. Handa and N. Hoshimiya,
Proc. 2nd International FES Symposium, (1995), 91-94.
77. High-Temperature Oxidation Behavior of CVD SiC and Si₃N₄.
T. Goto, T. Hirai, T. Narushima and Y. Iguchi,
Proc. 95' Beijing Inter. Conf. for Surface Sci. and Eng., Int. Academic Pub.,
(1995), 401-406.

(1996年)

78. Development of Multi-Channel Implantable Functional Electrical Stimulation (FES) System for Clinical Use.
N. Hoshimiya, H. Higa, T. Watanabe, H. Murakami, R. Futami, H. Matsuki, Y. Iguchi, Y. Handa, K. Takahashi, T. Furukawa, Y. Ogasawara and T. Shimotomai, Proceedings of the 1st International Conference on Bioelectromagnetism, (1996), 281-282.
79. Development of the Portable FES System and Flexible Electrodes for Clinical Use.
N. Hoshimiya, Y. Iguchi and Y. Handa, Proceedings of Satellite Symposium of 10th Nordic-Baltic Conference on Biomedical Engineering, (1996), 33-36.
80. Degradation of the Implanted FES Electrode.
M. Watanabe, Y. Iguchi, M. Mizuki, Y. Handa and N. Hoshimiya, Proceedings of the 7th Korea-Japan FES Symposium, (1996), 20-20.
81. Oxygen Distribution between Molten III Group Metals and B_2O_3 Flux.
Y. Iguchi, M. Kinoshita, D. Sajuti, S. Yoshida, Y. Hino and T. Narushima, Proceedings of International Symposium on Metallurgy and Materials of Non-ferrous Metals and Alloys, (1996), 45-49.
82. Determination of Free Lime Contents in Slags by Solution Calorimetry.
Y. Muraki, T. Narushima and Y. Iguchi, ISIJ International, 36[12] (1996), S243-S246.
83. In situ Observation of Oxide Films Formed during Thermal Oxidation of SiC- B_4C Composite Using Raman Spectroscopy.
T. Narushima, M. Maruyama, H. Arashi, T. Goto, T. Hirai and Y. Iguchi, Key Engineering Materials, 113 (1996), 99-104.
84. High-temperature oxidation of CVD-Silicon Based Ceramics.
T. Goto, T. Hirai, T. Narushima and Y. Iguchi, Ceramic Transaction vol. 71, The Am. Ceram. Soc., (1996), 245-257.
85. Complex Oxide Films Formed during Thermal Oxidation of Liquid Aluminum Alloys.
Y. Iguchi, T. Narushima, M. Maruyama, T. Shiozawa and H. Arashi, Design Fundamentals of High Temperature Composites, Intermetallics and Metal-Ceramic Systems., TMS, (1996), 337-343.

(1997年)

86. Oxygen Distribution between Molten B_2O_3 Flux and Indium or Gallium.
Y. Iguchi, M. Kinoshita, Y. Hino and T. Narushima,
Proc. of 5th International Conference on Molten Slags, Fluxes and Slats,
(1997), 317-320.
87. Solubility of Carbon in Liquid Silicon Equilibrated with Silicon Carbide.
K. Yanaba, M. Akasaka, M. Takeuchi, M. Watanabe, T. Narushima and Y.
Iguchi,
Mater. Trans. JIM., 38 [11] (1997), 990-994.
88. Preparation of Sr β -Alumina Ionic Conductors and Their Impedance
Measurements.
H. Gang, Y. Hayasaka, T. Narushima, T. Goto, T. Hirai and Y. Iguchi,
J. Ceram. Soc. Jpn., 105 [12] (1997), 1067-1071.

(1998年)

89. Effect of Alloying Elements on Carbon Solubility in Liquid Silicon Equilibrated
with Silicon Carbide.
K. Yanaba, Y. Matsumura, T. Narushima and Y. Iguchi,
Mater. Trans. JIM., 39 [8] (1998), 819-823.
90. Synthesis and Electrical Property of Ba β -Alumina in a BaO-MgO- Al_2O_3
System.
G. He, T. Narushima, T. Goto, T. Hirai and Y. Iguchi,
J. Ceram. Soc. Jpn., 106 [11] (1998), 1048-1050.
91. 東北大学未来科学技術共同研究センターの活動－学術研究成果と特許－.
井口泰孝,
学術月報, 51 [12] (1998), 1206-1209.
92. High-Temperature Oxidation of CVD Silicon Carbide-Passive/Active Oxidation
and Bubble Formation.
T. Goto, H. Homma, T. Hirai, T. Narushima and Y. Iguchi,
Proceedings of the Symposium on High Temperature Corrosion and Materials
Chemistry, San Diego, CA, USA, Electrochem. Soc, (1998), 395-408.

(1999年)

93. Evaluation of Fatigue Properties of High Nitrogen High Manganese Austenite Stainless Steel as an FES Electrode.
M. Watanabe, T. Narushima, T. Kinami, Y. Iguchi, N. Hoshimiya and Y. Handa, Proceedings of 4th Annual Conference of the International Function Stimulation Society, Sendai (1999), 121-123.
94. Electrical Conductivity of Alkaline-Earth Metal β -Aluminas and Their Application to a CO₂ Gas Sensor.
G. He, T. Goto, T. Narushima and Y. Iguchi, Solid State Ionics, 121 (1999), 313-319.
95. Electrical Conductivity and Ionic Transport Number of Sr and Ba β -Aluminas.
G. He, T. Goto, T. Narushima, T. Hirai and Y. Iguchi, Solid State Ionics, 124 (1999), 119-124.
96. High Temperature CO₂ Gas Sensor Using Sr β Alumina.
G. He, T. Goto, T. Narushima and Y. Iguchi, Proceedings of the 4 th East Asian Conference on Chemical Sensors, ITRI, Hsinchu, Taiwan, (1999), 183-186.

(2000年)

97. Activity of Ga₂O₃ in B₂O₃ Flux and Free Energies of Formation of GaBO₃ and InBO₃.
K. Tajima, Y. Hino, T. Narushima and Y. Iguchi, Mater. Trans. JIM, 41 [6] (2000), 714-718.
98. Formation and Oxidation of Sulphides on Pure Iron and Iron Oxides.
M. Watanabe, M. Sakuma, T. Inaba, and Y. Iguchi, Mater. Trans. JIM, 41 [7] (2000), 865-872.
99. Fatigue Properties of FES Electrodes in Saline Solution.
M. Watanabe, T. Kinami, T. Narushima, C. Ouchi, Y. Iguchi, Y. Handa and N. Hoshimiya, Proceedings of the International Workshop on FES, Sendai, (2000), 24-27.
100. Sulfidation of Iron and Iron Oxide at 573 to 773 K.
T. Inaba, M. Sakuma, M. Watanabe, T. Narushima, C. Ouchi and Y. Iguchi, Proceedings of the International Symposium on High-Temperature Corrosion and Protection 2000, (2000), 143-148.

101. 東北地方の産官学連携－学の立場から－.
井口泰孝,
技術と経済, (2000), 11-16
102. Development of Implanted Bio-materials and Application to FES Electrodes as the Interface between Stimulator and Nerve.
Y. Iguchi, C. Ouchi, T. Narushima, M. Watanabe, T. Kinami, T. Nishikawa, N. Hoshimiya and Y. Handa,
Proceedings of 5th Annual Conference of the International Functional Stimulation Society, (2000), 253-256.
103. Collaboration and Technology Transfer between Universities and Industries on Development of Electrodes as the Interface for FES (Functional Electrical Stimulation).
Y. Iguchi, T. Narushima, M. Watanabe, T. Kinami, N. Hoshimiya and Y. Handa,
Proceedings of the International Conference on Steel and Society, (2000), 396-401.

(2001年)

104. 機能的電気刺激用体内埋め込み電極の機械的・電気的特性と臨床評価.
大庭茂男, 藤居 徹, 渡辺雅俊, 星宮 望, 半田康延, 井口泰孝,
医用電子と生体工学, 39[2] (2001), 118-124.
105. Partnership between University and Industries at NICHe, TOHOKU University.
Y. Iguchi and F. Kamata.
Proceeding of The First International Science Forum at the Honjo Campus, Akita Prefectural University, 2001, 86-93.
106. Behavior of Oxygen in Ga-As Melts with the Range of As Content up to 5mass% Equilibrated with B₂O₃ Flux.
K. Tajima, T. Ogasawara, T. Narushima, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Mater. Trans., 42 [11] (2001), 2434-2439.
107. 産学連携と地域における企業立地.
井口泰孝,
産業立地, (2001), 1
108. 今, 学界・学会での産学連携.
井口泰孝, 鎌田史絵,
電気学会基礎・材料・共通部門 (A 部門), 121 [3] (2001), 187-192.

109. Calorimetric Study on Hydration of CaO-based Oxides.
Y. Iguchi, T. Narushima and C. Izumi,
J. Alloys and Comp., 321 [2] (2001), 276-281.
110. 大学における産学連携への取り組みと課題－東北大学を中心に－.
井口泰孝,
応用物理, 70 [1] (2001), 66-68.

(2002年)

111. Solubilities and Equilibrium Distribution Coefficients of Oxygen and Carbon in Silicon.
T. Narushima, A. Yamashita, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Mater. Trans., 43 [8] (2002), 2120-2124.
112. Oxidation of Silicon and Silicon Carbide in Ozone-containing Atmospheres at 973 K.
T. Narushima, M. Kato, S. Murase, C. Ouchi and Y. Iguchi,
J. Am. Ceram. Soc., 85 [8] (2002), 2049-2055.
113. Fatigue Property of Stainless Steel FES Electrode in Hanks' Solution.
Y. Iguchi, T. Narushima, K. Suzuki, S. Yoshida, M. Watanabe, T. Kinami and C. Ouchi,
Proc. of International Functional Electrical Stimulation Society 2002, (2002), 217-219.

(2003年)

114. University-Industry Cooperation in Japan: Why and How?
Y. Cao and Y. Iguchi,
The 1st International Conference on Knowledge Economy and Development of Science and Technology, (2003), 171-174.
115. Application of Sr β -alumina Solid Electrolyte to a CO₂ Gas Sensor.
T. Goto, G. He, T. Narushima and Y. Iguchi,
Solid State Ionics, 156 [3-4] (2003), 329-336.
116. Austenitic Grain Refinement in as cast HSLA Steels by Dynamic Recrystallization.
N. Fujita, T. Narushima, Y. Iguchi and C. Ouchi,
Mater. Sci. Forum, 426-4 (2003), 1095-1100.
117. Oxidation of Boron Carbide-Silicon Carbide Composite at 1073 to 1773 K.
T. Narushima, T. Goto, M. Maruyama, H. Arashi and Y. Iguchi,
Mater. Trans., 44 [3] (2003), 401-406.

118. 産学連携・知的人材育成のメカニズム 東北大学の取組を中心に。
井口泰孝,
AcTeB Review, [4] (2003), 48-51.
119. Partnership between University and Industries in Japan.
Y. Iguchi
Proc. of International Functional Electrical Stimulation Society 2003, (2003),
36-42.
120. Grain Refinement of As Cast Austenite by Dynamic Recrystallization in
HSLA Steels.
N. Fujita, T. Narushima, Y. Iguchi and C. Ouchi,
ISIJ International, 43 [7] (2003), 1063-1072.

(2004年)

121. 産学連携の仲介組織：TLO の技術移転戦略に関する一考察。
曹 勇, 井口泰孝,
産学連携学会第2回全国大会論文集, (2004), 53-54.
122. A Study on Reducing the Uncertainty of Tech-Transfer Process in TLO.
Y. Cao and Y. Iguchi,
Proceedings of the 2004 Portland International Conference on Management of
Engineering and Technology (PICMET'04), (2004), 285-290.
123. AUTM 報告書に見る米国における TLO 活動の成果と課題
曹 勇, 井口泰孝, 長平彰夫,
日本知財学会第2回年次学術研究全国大会論文集, (2004), 374-377.
124. Wet Oxidation of Silicon Carbide and Silicon Nitride.
T. Narushima, T. Goto, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Metals Materials and Processes, 15 [1-2] (2004), 177-185.
125. 東北大学における研究推進・知財戦略。
長谷川史彦, 伊藤弘昌, 西澤昭夫, 井口泰孝,
日本知財学会 第二回年次学術研究発表会, (2004) 182-185.
126. 地域連携と知財に基づくベンチャー創出ー東北大学の場合ー。
川嶋史絵, 長谷川史彦, 井口泰孝,
日本知財学会, 第二回年次学術研究発表会, (2004), 210-213,

127. 東北大学における地域連携と産学官連携強化について。
井口泰孝, 川嶋史絵,
溶接学会論文集, 22 [1] (2004), 181-185.
128. Boron and Nitrogen in GaAs and InP Melts Equilibrated with B₂O₃ Flux.
T. Yamada, T. Kudo, K. Tajima, A. Otsuka, T. Narushima, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Mater. Trans., 45 [4] (2004), 1306-1310.
129. Transcriptional Analysis of Genes for Energy Catabolism and Hydrolytic Enzymes in the Olamentous Fungus *Aspergillus Oryzae* Using cDNA Microarrays and Expressed Sequence Tags.
H. Maeda, M. Sano, Y. Maruyama, T. Tanno, T. Akao, Y. Totsuka, M. Endo, R. Sakurada, Y. Yamagata, M. Machida, O. Akita, F. Hasegawa, K. Abe, K. Gomi, T. Nakajima and Y. Iguchi
Appl. Microbiol. Biotechnol., 65 (2004), 74-83.
130. Refinement of β Grain Size Due to TiB or Y₂O₃ Precipitates in Titanium Alloy.
T. Nomura, N. Yamamoto, T. Narushima, Y. Iguchi and C. Ouchi,
Ti-2003, Science and Technology, Vol. II, DGM, Wiley-VCH, (2004), 1235-1242.
131. Nitridation of Titanium-Tin Alloys during Heating in Air.
T. Narushima, K. Suzuki, S. Kimura, Y. Iguchi and C. Ouchi,
Ti-2003, Science and Technology, Vol. IV, DGM, Wiley-VCH, (2004), 2115-2122.
132. Evaluation of Fatigue Property of Titanium Wires by Rotating-bending Testing in 1mass% Lactic Acid Solution.
T. Narushima, K. Ueda, M. Yamashita, T. Murakami, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Proc. of International Functional Electrical Stimulation Society 2004, (2004), 416-418.
133. 東北大学知の人材育成エクステンションスクールの成果と今後の課題。
井口泰孝, 長平彰夫, 曹 勇,
日本知財学会 第二回年次学術研究発表会, (2004), 358-361.
134. The Current Situation and Future Strategy of University-Industry Cooperation on Materials Technology in Japan.
Y. Cao and Y. Iguchi,
Proceedings of the China Material Research Society 2004 Annual Meeting (C-MRS2004), (2004), 550-551.

135. 産学連携－国立大学法人は私立大学と競存できるか？
井口泰孝,
ASTE 特集号発刊 理工総研10周年記念シンポジウム
これからの私立大学における産学連携とその戦略講演報告集, (2004), 28-31.
- (2005年)
136. Wear Loss and Elution of C. P. Ti and Titanium Alloy in Simulated Body Fluids.
K. Ueda, T. Narushima, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Mat. Sci. Forum. , 475-479, (2005), 2333-2336.
137. The Effects of Dynamic Recrystallization on γ Grain Refinement and Improvement of Micro Segregation of As Cast Austenite in 9%Ni Steel.
S. Hotta, T. Murakami, T. Narushima, Y. Iguchi and C. Ouchi,
ISIJ International, 45 [3] (2005), 338-346.
138. Hydrothermal Synthesis of Zeolite A Using Blast Furnace Slag.
Y. Sugano, T. Murakami, C. Ouchi, Y. Iguchi, R. Sahara and T. Narushima,
ISIJ International, 45 [6] (2005), 937-945.
139. University-Industry Cooperation in Japan: Some New Evidence from Universities.
Y. Cao, Y. Iguchi and Y. Harayama,
Proceedings of the 2005 Portland International Conference on Management of Engineering and Technology (PICMET'05), (2005), 75-83.
140. 米国の大学における技術移転発展モデルに関する研究.
谷治和文, 曹 勇, 井口泰孝,
日本知財学会 第3回年次学術研究全国大会論文集, (2005), 418-421.
141. ハイテク分野における知的財産戦略に関する日中の現状分析.
曹 勇, 井口泰孝,
日本知財学会 第3回年次学術研究全国大会論文集, (2005), 476-479.
142. 法人化に伴う大学知財本部とTLOとの連携体制の構築：東北大学の事例.
曹 勇, 井口泰孝, 原山優子, 高橋富男,
産学連携学会 第3回全国大会論文集, (2005), 47-49.
143. Fatigue Properties of Stainless Steel Wire Ropes for Electrodes in Functional Electrical Stimulation Systems.
T. Narushima, K. Suzuki, T. Murakami, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Mater. Trans. , 46 [9] (2005), 2083-2088.

144. Preparation of Calcium Phosphate Films by Radiofrequency Magnetron Sputtering.
T. Narushima, K. Ueda, T. Goto, H. Masumoto, T. Katsube, H. Kawamura, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Mater. Trans. , 46 [10] (2005), 2246-2252.
145. Development of Dental and Medical Systems for Reconstruction of Human Body with High Performance Titanium Materials.
T. Katsube, K. Ueda, T. Narushima, T. Goto, Y. Iguchi and H. Kawamura,
Proc. International Symposium for Interface Oral Health Science, in press.
146. Preferred Orientation of Calcium Phosphate Films Prepared by RF Magnetron Sputtering.
K. Ueda, T. Narushima, T. Goto, T. Katsube, H. Kawamura, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Archives of BioCeramics Research, Volume 5, (2005), 59-62.
147. The Effects of the Japanese Bayh-Dole System from University Patenting and Licensing.
Y. Cao and Y. Iguchi
Journal of The Economic Society, submitted.
148. 発明概念の研究
酒井宏明, 井口泰孝, 曹 勇,
パテント, 58 [10] (2005), 16-34.
149. 米国技術移転発展モデルの提案とその検証.
谷治和文, 曹 勇, 井口泰孝,
研究・技術計画学会第20回年次大会論文集, (2005), 33-36.
150. 米国大学 TLO の技術移転発展モデルの提案と検証
谷治和文, 井口泰孝, 曹 勇,
Right Now, 1 [5] (2006), 4-9.
151. 米国の大学における技術移転サイクルの提案と検証
谷治和文, 井口泰孝, 曹 勇,
パテント, 投稿中.
152. 情報化社会に伴うパラダイム・シフトと情報保護法としての新たな制度設計
酒井宏明, 井口泰孝, 曹 勇,
知財管理, 56 [1] (2006), accept.

153. β Grain Refinement due to Small Amounts of Yttrium Addition in $\alpha + \beta$ Type Titanium Alloy, SP-700.
S.Hotta, K.Yamada, T.Murakami, T.Narushima, T.Iguchi, C.Ouchi,
ISIJ International, accepted.
154. CO₂ ガスを利用したチタンおよびチタン合金の表面硬化処理.
金元哲, 佐原亮二, 成島尚之, 井口泰孝, 大内千秋,
鉄と鋼, 受理.
155. Characterization of Calcium Phosphate Films Prepared by RF Magnetron Sputtering.
T. Narushima, K. Ueda, T. Goto, T. Katsube, H. Kawamura, C. Ouchi and Y. Iguchi,
Proc. 2005 MRS Fall Meeting Symposia, submitted.
156. Alloy Designing and Property Evaluation of New β Type Titanium Alloy with Excellent Cold Workability and Biocompatibility.
K. Taneichi, M. Taira, E. Sukedai, T. Narushima, Y. Iguchi and C. Ouchi,
ISIJ International, submitted.
157. Surface Hardening Treatment in Use of CO Gas and Post-heat Treatment in C.P. Titanium and Titanium Alloys.
Y. Z. Kim, T. Murakami, T. Narushima, Y. Iguchi and C. Ouchi,
Solid State Phenomena, submitted.

III. 解説・評論

1. 機能的電気刺激用経皮的埋め込み電極.
谷本好則, 国分 馨, 半田康延, 星宮 望, 井口泰孝,
日本金属学会会報, 28 [3] (1989), 184-187.
2. High-Temperature Oxidation of Silicon Carbide and Silicon Nitride.
T. Narushima, T. Goto, T. Hirai and Y. Iguchi,
Mater. Trans. JIM., 38 [10] (1997), 821-835.
3. 超高純度精製技術に基づいた機能的電気刺激用生体埋込みステンレス鋼製電極の開発.
井口泰孝, 成島尚之, 星宮 望, 半田康延,
ふえらむ, 4 [11] (1999), 737-740.

4. キャンパスインキュベーションー東北大学ではー。
井口泰孝,
まてりあ, 38 [11] (1999), 855-856.
5. 材料技術戦略における産学官連携。
井口泰孝,
日本金属学会研究会20世紀材料技術の回顧と展望ーある合宿研究会の記録ー,
(2000), 1-6.
6. 産学官の連携強化 WG 報告。
井口泰孝,
まてりあ, 40 [5] (2001), 467-468.
7. 技術社会システムの構築を目指した人材育成。
井口泰孝,
まてりあ, 42 [2] (2003), 99-102.
8. 大学から見たベンチャー起業の必要性和将来展望。
曹 勇, 井口泰孝,
まてりあ, 44 [2] (2005), 637-640.
9. 情報化社会に伴う特許法のパラダイム・シフト
酒井宏明, 井口泰孝, 曹 勇,
知財プリズム (経済産業調査会の出版物), 3 [37] (2005), 71-78
10. 技術経営における知的財産戦略。
酒井宏明, 井口泰孝, 曹 勇,
まてりあ, 45 [1] (2006), 101-105.

IV. その他

1. 溶融スラグの水蒸気吸収について。
井口泰孝, 不破 祐, 有馬慶治,
日本学術振興会, 19委-9572, (1973), 1-22.
2. ラマン分光法による $\text{CaO-SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$ 系スラグの構造解析。
萬谷志郎, 井口泰孝, 米澤公敏, 仁科雄一郎,
日本学術振興会, 140委-173, (1985), 1-15.

3. ラマン分光法による $\text{CaO-SiO}_2\text{-TiO}_2$ 系スラグの構造解析.
萬谷志郎, 井口泰孝, 米澤公敏, 仁科雄一郎,
日本学術振興会, 140委-180, (1985), 1-16.
4. 熔融 $\text{Fe}_t\text{O-CaO, Fe}_t\text{O-CaO-SiO}_2$ 系スラグの生成熱.
萬谷志郎, 井口泰孝, 石塚晴彦, 柴田 尚,
日本学術振興会, 19委-10732, (1986), 1-17.
5. ラマン分光法による 2 元系珪酸塩の構造解析.
萬谷志郎, 井口泰孝, 船岡洋一, 仁科雄一郎,
日本学術振興会, 140委-188, (1986), 1-16.
6. フッ化物を含む溶融酸化物の構造解析.
萬谷志郎, 井口泰孝, 船岡洋一, 仁科雄一郎,
日本学術振興会, 140委-200, (1987), 1-15.
7. SiC の高温アクティブ酸化機構.
後藤 孝, 成島尚之, 平井敏雄, 井口泰孝,
第 9 回高温材料基礎討論会, SiC 質セラミックスのすべて, (1989), 98-102.
8. 高純度鋼溶製の物理化学.
井口泰孝
第143, 144回西山記念技術講座, (1992), 29-50.
9. 鉄および鋼中の窒素定量に関する熱力学的一考察.
成島尚之, 井口泰孝,
日本学術振興会, 19委-11347, (1992), 1-8.
10. 鉄鋼製錬における最近のスラグ, フラックスの動向.
渡邊雅俊, 井口泰孝,
日本学術振興会, 19委-11339, (1992), 1-6.
11. Active and Passive Oxidation of Silicon-based Ceramics.
T. Narushima, Y. Iguchi, T. Goto and T. Hirai,
International Symposium on High Temperature Materials to Solve Global
Environmental Properties, (1993), 163-165.
12. シリコン基セラミックスの高温酸化.
成島尚之, 後藤孝, 井口泰孝, 平井敏雄,
新素材・新コーティングの高温耐環境性, 日本金属学会, (1994), 21-24.

13. 二次イオン質量分析計によるセラミックスの高温酸化皮膜中の水素分析.
井口泰孝, 成島尚之,
青葉工業会報, 39, (1995), 14-17.
14. スラッグの顕微ラマン観察
井口泰孝, 成島尚之,
製鋼スラッグの発生量低減と資源化-製鋼スラッグの基礎と応用研究会最終報告
書一, 日本鉄鋼協会, (1997), 207-212.
15. 溶解熱熱量計によるスラッグ中 F-CaO の定量
井口泰孝, 成島尚之,
製鋼スラッグの発生量低減と資源化-製鋼スラッグの基礎と応用研究会最終報告
書一, 日本鉄鋼協会, (1997), 217-225.
16. シリコンおよびシリコン基セラミックスの高温加速酸化におよぼす水素の影響
井口泰孝, 成島尚之, 後藤孝, 平井敏雄,
第120回防食腐食シンポジウム資料, (1998), 30-38.
17. Investigation of the Used FES Electrodes and Development of New Electrode
for Totally Implanted FES System.
Y. Iguchi, T. Narushima, M. Watanabe, T. Kinami, Y. Handa and N. Hoshimiya,
Proceedings of the 8th Korea-Japan FES Symposium, (1998), 4.
18. 「産学リエゾンの展開－新産業創出に対する学界の役割－」企画にあたって.
井口泰孝,
まてりあ, 38[11] (1999), 829.
19. 東北地区に, 壮大なテクノロジーのネットワークを創造する.
井口泰孝,
経済界666 (1999), 101-102.
20. 今, 学界・学会での産学連携.
井口泰孝,
電気学会 基礎・材料・共通部門大会講演論文集, (2000), 1-6.
21. 機能的電子刺激用生体埋込ステンレス鋼電極の開発.
大内千秋, 井口泰孝, 渡辺雅俊, 成島尚之, 木浪常利, 西川貴洋,
日本学術振興会 製鋼第19委員会 反応プロセス研究会提出資料, 19委-
11899, 反応プロセス-11-80, (2001).

22. 産学官連携のあり方ー東北大学の活動を中心としてー。
井口泰孝,
ビジョナー第11回 野田産学官交流会講演記録, 東京理科大学,
科学フォーラム (2001), 5-10.
23. Liaison リエゾン, 産学連携.
井口泰孝,
NICHe News Vol. 1 (2001), 3.
24. 技術社会システム専攻 (Management of Science & Technology Department:
MOST).
井口泰孝,
NICHe News Vol. 3 (2002), 3.
25. セラミックス表面・界面の異方性
井口泰孝, 成島尚之, 江頭繁樹, 大内千秋,
日本学術振興会 製鋼第19委員会 反応プロセス研究会提出資料, 19委-
12032, 反応プロセス-J-46, (2003).
26. 生体用新 $\alpha+\beta$ 型チタン合金での超微細組織の創製.
平野貴大, 佐原亮二, 成島尚之, 井口泰孝, 大内千秋,
「対心立方系チタン合金」フォーラム成果報告会講演概要集, (2003), 19-20.
27. 地域連携と組織的な産学連携強化について.
井口泰孝,
NICHe News Vol. 5 (2003), 2.
28. 法人化の成否を決めるプロフェッショナル.
井口泰孝,
NICHe News Vol. 6 (2004), 6.
29. 冷間圧延性と超塑性性能に優れた生体用新 $\alpha+\beta$ 型チタン合金の合金設計と諸
特性.
平野貴大, 村上太一, 井口泰孝, 大内千秋, 成島尚之,
日本鉄鋼協会 材料の組織と特性部会「高加工性チタン合金フォーラム」成
果報告講演概要集, (2004), 27-29.